

学 位 論 文 要 約

博士論文題目行政保健師の裁量行使の過程に関する理論の構築.....

.....東北大学大学院医学系研究科.....保健学専攻.....

.....基礎・健康開発看護学領域.....公衆衛生看護学分野.....

学籍番号.....B5MD2010.....氏名.....森田 誠子.....

背景：少子高齢化の進展、人口の減少、生活スタイルや世帯構成、疾病構造といった地域社会の変化に伴い、地域の健康課題や行政ニーズは高度複雑化している。行政保健師は、地域社会や健康課題の変化に対応しながら、公衆衛生看護活動を展開してきた。今後ますます複雑化することが予測される健康課題や行政サービスの提供体制に対応するために、行政保健師の裁量に着目し、行政保健師の役割を探索する意義がある。

目的：本研究は、行政保健師の裁量行使の過程に関する理論を構築することを目的とした。

方法：本研究は、概念分析とグラウンデッド・セオリー・アプローチの2段階で行った。第1の段階では、裁量の概念の特性を検討し、以降の研究における分析の視点や理論的前提に関する示唆を得るために、文献を対象として裁量の概念分析を行った。第2の段階では、理論を構築するためにグラウンデッド・セオリー・アプローチを行った。データ収集はインタビューにより行った。インタビューの対象は、地方自治体の行政保健師11名、地方自治体の一般事務職3名、訪問看護師1名、一般病棟に勤務した経験を持つ看護師1名であった。インタビューは16件行い、期間は2017年10月から2018年7月であった。本研究は、東北大学大学院医学系研究科倫理委員会の承認を得た。

結果：行政保健師の裁量行使の過程に関する理論を構築した。行政保健師の裁量は、【規範の余白の具現の方策】という概念であった。行政保健師が【規範の余白の具現の方策】を講じること、すなわち裁量を行うことは、【「この地域」のあり方の実現】を達成することを目的に行われていた。行政保健師が【「この地域」のあり方の実現】を達成するためには、2つの条件を満たす必要があった。1つは、行政保健師が裁量を行う前提に、【規範の両義的作用】を受けることであった。もう1つは、行政保健師が裁量を行うことに先立って、あるいは一部並行して、行政保健師が【「この地域」の反映】をすることであった。行政保健師の裁量行使の過程に関する理論は、単に行政保健師が有する裁量を示す概念だけから構成されるのではなく、行政保健師が裁量を行うことによって【「この地域」のあり方の実現】を達成するために満たすことが必要となる条件に関する概念を含むものであった。行政保健師の裁量行使の過程に関する理論の全体像は、以上のような構成となっており、4つの核となる主要な概念があった。各概念の詳細は、以下である。行政保健師が【規範の余白の具現の方策】を講じるとは、行政保健師が《判断の枠組みを働かせる》ことに続いて《選択肢を選びとり、《決定と実施を支援する》という一連の過程であった。行政保健師は、【「この地域」のあり方の実現】を目指して【規範の余白の具現の方策】を講じていた。「この地域」とは、行政保健師の活動の対象となる個別具体的な状況にある個人や地域を示していた。「この地域」のあり方は、行政保健師の実践的活動において目指すべき方向性となっていた。行政保健師が裁量行使の前提として【規範の両義的作用】の影響

（書式18）課程博士

を受けることは、行政保健師が【規範の余白の具現の方策】を講じる際に、常に規範が持つ推進力と抑止力の影響を受けることであった。【規範の両義的作用】には、下位概念として、行政保健師が《機関の立場》に立つことと《規範の余白の変化》の影響を受けることがあった。行政保健師が【「この地域」の反映】をすることは、《生活に触れる》、《くまなく見る》、《地域の声を蓄積する》、《メッセンジャーになる》の4つの一連の概念からなっていた。行政保健師が【「この地域」の反映】をすることは、行政保健師が対象の状況とニーズの実際を知り、その実際を行政機関の中に伝えることによって、行政機関全体の活動に対象の状況の実際を反映させようとする一連の過程であった。行政保健師が【規範の余白の具現の方策】を講じることで【「この地域」のあり方の実現】を達成するためには、行政保健師が【規範の両義的作用】の影響を受け、行政保健師が【「この地域」の反映】をすることが必要であった。

結論：行政保健師の裁量行使の過程は、特定の地域やその構成員の健康増進のために公衆衛生活動を実践するプロセスだった。行政保健師の裁量行使の過程に関する理論は、具体的な公衆衛生活動の種目を指すのではなく、一連の実践モデルを示した。行政保健師が裁量行使の過程を念頭に公衆衛生活動を行うことにより、実践活動の余地が広がり、高度複雑化する健康課題と行政ニーズに対応できることが期待できた。